

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	無期限（2017年1月23日設定）	
運用方針	主として、三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界主要国の債券に投資し、信託財産の長期的な成長を目標として運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、世界主要国の債券に直接投資することがあります。
	マザーファンド	世界主要国の債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> 分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。） </div>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド （年1回決算型）

愛称：グローバル・トップ年1



第6期（決算日：2022年4月20日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド（年1回決算型）」は、去る4月20日に第6期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			(参考指数)		債券組入比率	債券先物比率	純資産額	
		税金	込配	み金	期騰落	中率				FTSE世界国債 インデックス (除く日本・円ベース)
	円			円		%		%	百万円	
2期(2018年4月20日)	9,815			0		1.3	448.58	6.1	97.4	757
3期(2019年4月22日)	10,379			0		5.7	459.63	2.5	98.2	695
4期(2020年4月20日)	11,031			0		6.3	475.93	3.5	97.6	610
5期(2021年4月20日)	12,308			0		11.6	498.62	4.8	97.7	691
6期(2022年4月20日)	12,636			0		2.7	520.19	4.3	97.1	620

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		（ 参 考 指 数 ）		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期首) 2021年4月20日	円 12,308	% —	FTSE世界国債 インデックス (除く日本・円ベース) 498.62	% —	% 97.7	% —
4月末	12,426	1.0	502.93	0.9	97.7	—
5月末	12,393	0.7	510.44	2.4	97.8	—
6月末	12,228	△0.6	508.66	2.0	97.6	—
7月末	12,202	△0.9	513.08	2.9	98.1	—
8月末	12,090	△1.8	512.29	2.7	98.3	—
9月末	11,933	△3.0	508.95	2.1	97.3	—
10月末	12,192	△0.9	518.32	3.9	98.0	—
11月末	11,803	△4.1	512.77	2.8	98.2	—
12月末	12,175	△1.1	516.73	3.6	96.7	—
2022年1月末	11,649	△5.4	507.46	1.8	97.1	—
2月末	11,697	△5.0	500.36	0.3	97.8	—
3月末	12,357	0.4	514.02	3.1	97.7	—
(期末) 2022年4月20日	12,636	2.7	520.19	4.3	97.1	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第6期：2021年4月21日～2022年4月20日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第6期首	12,308円
第6期末	12,636円
既払分配金	0円
騰落率	2.7%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ2.7%の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

シンガポールドルや豪ドルが対円で上昇したことや債券の利子収益を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

オーストラリアやニュージーランドの長期金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

▶ 債券市況

オーストラリア、ニュージーランド、シンガポールの長期金利は上昇しました。

新型コロナウイルス変異株の感染拡大が起き、投資国の長期金利が一時的に低下した局面はあったものの、2021年9月以降、オーストラリアで米国などと同様に金融政策の正常化観測が高まったことや、ニュージーランドやシンガポールでインフレ抑制にむけて複数回の政策金利の引き上げや金融引き締めが実施されたことなどから、投資国の長期金利は上昇しました。

▶ 為替市況

豪ドル、シンガポールドル、ニュージーランドドルは対円で上昇しました。

日銀が緩和的な金融政策を維持する中、投資国で金融政策の引き締め観測が高まった結果、投資国と本邦との金利差が拡大したことなどから、豪ドル、ニュージーランドドル、シンガポールドルは対円で上昇しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド（年1回決算型）

三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高いと判断した国の債券を高位に組み入れた運用を行いました。

▶ 三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド

投資国

2021年8月まではオーストラリア、ニュージーランドの2カ国で運用しました。9月にオーストラリアの一部をシンガポールに入れ替え、その後はオーストラリアとニュージーランドとシンガポールの3カ国で運用しました。

通貨

相対的に利回りが高いと判断した投資対象国の中から、オーストラリアへ重点配分しました。

金利

残存期間毎に最終利回りが相対的に高い銘柄を中心に、流動性を考慮して銘柄選択を行い投資しました。

組入比率

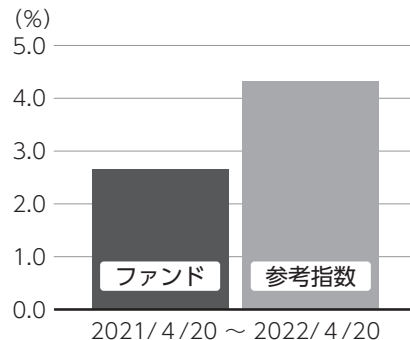
期を通じて、債券の組入比率は高位を維持しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はF T S E 世界国債インデックス（除く日本・円ベース）です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第6期 2021年4月21日～2022年4月20日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	2,635

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ 三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド（年1回決算型）

三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持する方針です。

▶ 三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド 投資国

世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高い国の債券に投

資する方針です。

通貨

相対的に利回りが高いと判断される投資対象国を複数選定し、相対的に利回りが高いと判断される国に重点配分する方針です。

金利

ポートフォリオの構築は国別に、残存期間毎に最終利回りの高い銘柄を中心に選択する方針です。

2021年4月21日～2022年4月20日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	146	1.210	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（ 投 信 会 社 ）	(73)	(0.605)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(67)	(0.550)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(7)	(0.055)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	4	0.031	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(3)	(0.027)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	150	1.241	

期中の平均基準価額は、12,100円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

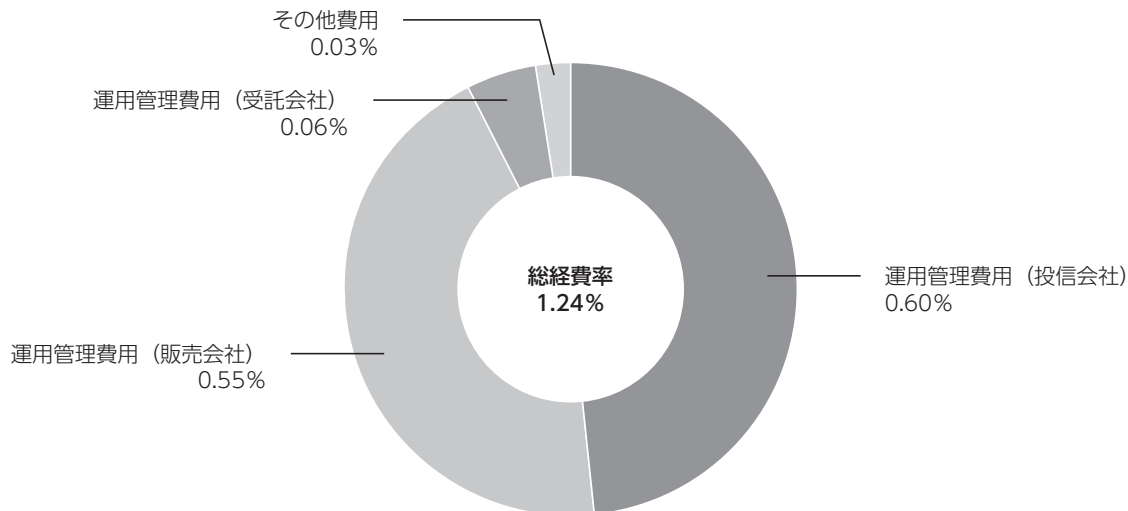
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.24%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年4月21日～2022年4月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド	千口 12,665	千円 35,598	千口 45,584	千円 128,214

○利害関係人との取引状況等

(2021年4月21日～2022年4月20日)

利害関係人との取引状況

<三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド（年1回決算型）>
該当事項はございません。

<三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 53,491	百万円 8,187	% 15.3	百万円 71,078	百万円 50,862	% 71.6

平均保有割合 0.4%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2022年4月20日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)		当期末	
	口数	評価額	口数	評価額
三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド	千口 241,771	千円 619,416	千口 208,852	千円 619,416

○投資信託財産の構成

(2022年4月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド	千円 619,416	% 99.2
コール・ローン等、その他	5,128	0.8
投資信託財産総額	624,544	100.0

(注) 三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（171,683,387千円）の投資信託財産総額（172,449,944千円）に対する比率は99.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=95.73円	1 ニュージーランドドル=87.37円	1 シンガポールドル=94.58円	
--------------------	---------------------	-------------------	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2022年4月20日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	624,544,312
コール・ローン等	5,035,344
三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド(評価額)	619,416,082
未収入金	92,886
(B) 負債	3,639,491
未払信託報酬	3,627,683
未払利息	2
その他未払費用	11,806
(C) 純資産総額(A-B)	620,904,821
元本	491,378,917
次期繰越損益金	129,525,904
(D) 受益権総口数	491,378,917口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,636円

<注記事項>

- ①期首元本額 561,943,721円
 期中追加設定元本額 45,668,616円
 期中一部解約元本額 116,233,420円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.2636円です。

○損益の状況（2021年4月21日～2022年4月20日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 460
受取利息	9
支払利息	△ 469
(B) 有価証券売買損益	24,643,789
売買益	26,688,852
売買損	△ 2,045,063
(C) 信託報酬等	△ 7,642,597
(D) 当期損益金(A+B+C)	17,000,732
(E) 前期繰越損益金	86,878,331
(F) 追加信託差損益金	25,646,841
(配当等相当額)	(22,766,712)
(売買損益相当額)	(2,880,129)
(G) 計(D+E+F)	129,525,904
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	129,525,904
追加信託差損益金	25,646,841
(配当等相当額)	(22,827,223)
(売買損益相当額)	(2,819,618)
分配準備積立金	103,879,063

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

②分配金の計算過程

項 目	2021年4月21日～ 2022年4月20日
費用控除後の配当等収益額	10,401,884円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	6,598,848円
収益調整金額	25,646,841円
分配準備積立金額	86,878,331円
当ファンドの分配対象収益額	129,525,904円
1万口当たり収益分配対象額	2,635円
1万口当たり分配金額	—円
収益分配金金額	—円

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド

《第19期》決算日2022年4月20日

[計算期間：2021年4月21日～2022年4月20日]

「三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド」は、4月20日に第19期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第19期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	信託財産の長期的な成長を目標として運用を行います。 世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高い国の債券に投資することにより、利子収益の獲得をめざします。投資対象候補国は、国債の信用力、債券市場や外国為替市場の規模等を勘案して委託会社が決定します。投資対象候補国の中から、相対的に利回りが高いと判断される投資対象国を複数選定し、最も利回りが高いと判断される国に重点配分することを基本とします。判断の基準としては、FTSE世界国債インデックスにおける各国の最終利回りとし、ポートフォリオの構築は国別に行うこととし、残存期間毎に最終利回りの高い銘柄を中心に選択します。投資対象とする債券の種類は、各国の国債、政府保証債のほか、オーストラリアの州政府債および各国通貨建ての国際機関債とします。組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。
主要運用対象	世界主要国の債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数)		債組入比率	債先物比率	純資産額
	期騰落	中率	FTSE世界国債インデックス(除く日本・円ベース)	期騰落			
15期(2018年4月20日)	円	%	448.58	%	%	%	百万円 222,771
16期(2019年4月22日)	21,931	3.2	459.63	6.1	97.7	—	203,832
17期(2020年4月20日)	23,472	7.0	475.93	3.5	97.8	—	182,121
18期(2021年4月20日)	25,258	7.6	498.62	4.8	97.9	—	183,125
19期(2022年4月20日)	28,538	13.0	520.19	4.3	97.3	—	172,143

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数)		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
	円	騰 落 率	FTSE 世界国債 インデックス (除く日本・円ベース)	騰 落 率		
(期 首) 2021年 4月20日	28,538	—	498.62	—	97.9	—
4 月 末	28,820	1.0	502.93	0.9	98.0	—
5 月 末	28,775	0.8	510.44	2.4	98.0	—
6 月 末	28,417	△0.4	508.66	2.0	97.8	—
7 月 末	28,386	△0.5	513.08	2.9	98.3	—
8 月 末	28,154	△1.3	512.29	2.7	98.5	—
9 月 末	27,815	△2.5	508.95	2.1	97.5	—
10 月 末	28,448	△0.3	518.32	3.9	98.3	—
11 月 末	27,567	△3.4	512.77	2.8	98.4	—
12 月 末	28,468	△0.2	516.73	3.6	97.0	—
2022年 1 月 末	27,264	△4.5	507.46	1.8	97.4	—
2 月 末	27,402	△4.0	500.36	0.3	98.0	—
3 月 末	28,982	1.6	514.02	3.1	97.9	—
(期 末) 2022年 4月20日	29,658	3.9	520.19	4.3	97.3	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

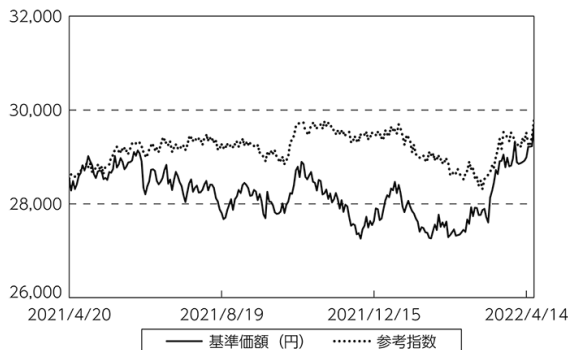
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ3.9%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

シンガポールドルや豪ドルが対円で上昇したことや債券の利子収益を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

オーストラリアやニュージーランドの長期金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎債券市況

・オーストラリア、ニュージーランド、シンガポールの長期金利は上昇しました。

新型コロナウイルス変異株の感染拡大が起き、投資国の長期金利が一時的に低下した局面はあったものの、2021年9月以降、オーストラリアで米国などと同様に金融政策の正常化観測が

高まったことや、ニュージーランドやシンガポールでインフレ抑制にむけて複数回の政策金利の引き上げや金融引き締めが実施されたことなどから、投資国の長期金利は上昇しました。

◎為替市況

- ・豪ドル、シンガポールドル、ニュージーランドドルは対円で上昇しました。

日銀が緩和的な金融政策を維持する中、投資国で金融政策の引き締め観測が高まった結果、投資国と本邦との金利差が拡大したことなどから、豪ドル、ニュージーランドドル、シンガポールドルは対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

(投資国)

- ・2021年8月まではオーストラリア、ニュージーランドの2カ国で運用しました。9月にオーストラリアの一部をシンガポールに入れ替え、その後はオーストラリアとニュージーランドとシンガポールの3カ国で運用しました。

(通貨)

- ・相対的に利回りが高いと判断した投資対象国の中から、オーストラリアへ重点配分しました。

(金利)

- ・残存期間毎に最終利回りが相対的に高い銘柄を中心に、流動性を考慮して銘柄選択を行い投資しました。

(組入比率)

- ・期を通じて、債券の組入比率は高位を維持しました。

○今後の運用方針

(投資国)

- ・世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高い国の債券に投資する方針です。

(通貨)

- ・相対的に利回りが高いと判断される投資対象国を複数選定し、相対的に利回りが高いと判断される国に重点配分する方針です。

(金利)

- ・ポートフォリオの構築は国別に、残存期間毎に最終利回りの高い銘柄を中心に選択する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2021年4月21日～2022年4月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(8)	(0.027)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	8	0.027	
期中の平均基準価額は、28,226円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年4月21日～2022年4月20日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外	オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル 97,632	千オーストラリアドル 802,931
		特殊債券	13,914	10,489
	ニュージーランド	国債証券	千ニュージーランドドル 65,327	千ニュージーランドドル 119,455
特殊債券		19,960	—	
国	シンガポール	国債証券	千シンガポールドル 663,567	千シンガポールドル 94,481

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2021年4月21日～2022年4月20日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
為替直物取引	百万円 53,491	百万円 8,187	15.3	百万円 71,078	百万円 50,862	71.6

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2022年4月20日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
オーストラリア	千オーストラリアドル 739,000	千オーストラリアドル 710,185	千円 67,986,025	% 39.5	% —	% 30.8	% 6.4	% 2.3
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 620,000	千ニュージーランドドル 579,743	50,652,227	29.4	—	16.2	11.1	2.1
シンガポール	千シンガポールドル 520,000	千シンガポールドル 516,568	48,857,089	28.4	—	17.9	7.2	3.3
合 計	—	—	167,495,342	97.3	—	64.9	24.7	7.7

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	額面金額	期 末		償還年月日
				評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
オーストラリア		%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	
国債証券	1 AUST GOVT 311121	1.0	50,000	41,524	3,975,143	2031/11/21
	1.25 AUST GOVT 320521	1.25	60,000	50,620	4,845,930	2032/5/21
	1.5 AUST GOVT 310621	1.5	50,000	43,897	4,202,293	2031/6/21
	1.75 AUST GOVT 510621	1.75	30,000	20,554	1,967,727	2051/6/21
	2.25 AUST GOVT 280521	2.25	30,000	29,000	2,776,256	2028/5/21
	2.5 AUST GOVT 300521	2.5	40,000	38,635	3,698,576	2030/5/21
	2.75 AUST GOVT 240421	2.75	10,000	10,120	968,872	2024/4/21
	2.75 AUST GOVT 271121	2.75	20,000	19,959	1,910,709	2027/11/21
	2.75 AUST GOVT 281121	2.75	40,000	39,695	3,800,036	2028/11/21
	2.75 AUST GOVT 291121	2.75	50,000	49,346	4,723,961	2029/11/21
	2.75 AUST GOVT 410521	2.75	15,000	13,603	1,302,235	2041/5/21
	3 AUST GOVT 470321	3.0	30,000	27,608	2,642,962	2047/3/21
	3.25 AUST GOVT 250421	3.25	20,000	20,449	1,957,655	2025/4/21
	3.25 AUST GOVT 290421	3.25	40,000	40,868	3,912,335	2029/4/21
	3.25 AUST GOVT 390621	3.25	30,000	29,595	2,833,145	2039/6/21
	4.25 AUST GOVT 260421	4.25	50,000	53,054	5,078,937	2026/4/21
	4.5 AUST GOVT 330421	4.5	30,000	33,958	3,250,821	2033/4/21
	4.75 AUST GOVT 270421	4.75	20,000	21,883	2,094,899	2027/4/21
特殊債券	2.5 NEWSWALES 321122	2.5	14,000	12,863	1,231,396	2032/11/22
	2.75 QUEENSLAND 270820	2.75	40,000	39,553	3,786,476	2027/8/20
	4 NEWSWALES 230420	4.0	40,000	41,068	3,931,444	2023/4/20
	5.5 VICTORIA 241217	5.5	30,000	32,322	3,094,205	2024/12/17
小	計				67,986,025	
ニュージーランド			千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル		
国債証券	0.25 NZ GOVT 280515	0.25	40,000	33,121	2,893,868	2028/5/15
	0.5 NZ GOVT 240515	0.5	60,000	56,862	4,968,095	2024/5/15
	0.5 NZ GOVT 260515	0.5	40,000	35,689	3,118,212	2026/5/15
	1.5 NZ GOVT 310515	1.5	70,000	59,441	5,193,408	2031/5/15
	1.75 NZ GOVT 410515	1.75	40,000	29,979	2,619,312	2041/5/15
	2.75 NZ GOVT 250415	2.75	45,000	44,349	3,874,836	2025/4/15
	2.75 NZ GOVT 370415	2.75	65,000	59,124	5,165,732	2037/4/15
	3 NZ GOVT 290420	3.0	70,000	68,171	5,956,141	2029/4/20
	3.5 NZ GOVT 330414	3.5	70,000	70,083	6,123,214	2033/4/14
	4.5 NZ GOVT 270415	4.5	60,000	63,066	5,510,120	2027/4/15
	5.5 NZ GOVT 230415	5.5	40,000	41,115	3,592,229	2023/4/15
特殊債券	1.75 IADB 260825	1.75	10,000	9,142	798,737	2026/8/25
	3 IADB 270223	3.0	10,000	9,595	838,318	2027/2/23
小	計				50,652,227	
シンガポール			千シンガポールドル	千シンガポールドル		
国債証券	0.5 SINGAPORGV 251101	0.5	30,000	28,386	2,684,748	2025/11/1
	1.625 SINGAPORGV 310701	1.625	30,000	27,725	2,622,260	2031/7/1
	1.75 SINGAPORGV 230201	1.75	10,000	10,034	949,046	2023/2/1
	1.875 SINGAPORGV 500301	1.875	30,000	24,708	2,336,897	2050/3/1
	2 SINGAPORGV 240201	2.0	20,000	20,047	1,896,045	2024/2/1

銘柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
シンガポール			%	千シンガポールドル	千シンガポールドル	千円	
	国債証券	2.125 SINGAPORGOV 260601	2.125	20,000	19,934	1,885,427	2026/6/1
		2.25 SINGAPORGOV 360801	2.25	30,000	28,322	2,678,760	2036/8/1
		2.375 SINGAPORGOV 250601	2.375	20,000	20,197	1,910,245	2025/6/1
		2.375 SINGAPORGOV 390701	2.375	10,000	9,465	895,265	2039/7/1
		2.625 SINGAPORGOV 280501	2.625	40,000	40,439	3,824,766	2028/5/1
		2.75 SINGAPORGOV 230701	2.75	30,000	30,409	2,876,129	2023/7/1
		2.75 SINGAPORGOV 420401	2.75	20,000	19,977	1,889,424	2042/4/1
		2.75 SINGAPORGOV 460301	2.75	30,000	29,584	2,798,103	2046/3/1
		2.875 SINGAPORGOV 290701	2.875	50,000	51,197	4,842,242	2029/7/1
		2.875 SINGAPORGOV 300901	2.875	50,000	51,263	4,848,471	2030/9/1
		3 SINGAPORGOV 240901	3.0	30,000	30,694	2,903,044	2024/9/1
		3.375 SINGAPORGOV 330901	3.375	40,000	42,655	4,034,384	2033/9/1
		3.5 SINGAPORGOV 270301	3.5	30,000	31,527	2,981,823	2027/3/1
	小 計					48,857,089	
	合 計					167,495,342	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2022年4月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	167,495,342	97.1
コール・ローン等、その他	4,954,602	2.9
投資信託財産総額	172,449,944	100.0

(注) 期末における外貨建純資産（171,683,387千円）の投資信託財産総額（172,449,944千円）に対する比率は99.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=95.73円	1 ニュージーランドドル=87.37円	1 シンガポールドル=94.58円
--------------------	---------------------	-------------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年4月20日現在)

項目	当期末
(A) 資産	172,449,944,816 円
コール・ローン等	3,842,023,736
公社債(評価額)	167,495,342,403
未収利息	1,103,714,079
前払費用	8,864,598
(B) 負債	306,890,630
未払解約金	306,890,316
未払利息	314
(C) 純資産総額(A-B)	172,143,054,186
元本	58,043,227,001
次期繰越損益金	114,099,827,185
(D) 受益権総口数	58,043,227,001口
1万口当たり基準価額(C/D)	29,658円

<注記事項>

- ①期首元本額 64,168,417,556円
 期中追加設定元本額 1,239,253,574円
 期中一部解約元本額 7,364,444,129円
 また、1口当たり純資産額は、期末2.9658円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(毎月決算型)	34,651,257,230円
三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド(毎月決算型)	15,986,175,639円
三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(年1回決算型)	5,982,390,445円
MUAM グローバル・ボンド・ファンド(適格機関投資家転売制限付)	1,076,808,907円
三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド(年1回決算型)	208,852,951円
外国債券アクティブファンドセレクション(ラップ専用)	137,741,829円
合計	58,043,227,001円

[お知らせ]

「FTSE世界国債インデックス」について、2021年10月末より中国国債の組み入れに伴い、当該指数を参照等する当ファンドにおいて、新たに中国国債の組み入れを適宜開始します。

○損益の状況 (2021年4月21日～2022年4月20日)

項目	当期
(A) 配当等収益	4,783,190,342 円
受取利息	4,783,535,570
支払利息	△ 345,228
(B) 有価証券売買損益	1,557,858,010
売買益	24,731,549,623
売買損	△ 23,173,691,613
(C) 保管費用等	△ 46,617,987
(D) 当期損益金(A+B+C)	6,294,430,365
(E) 前期繰越損益金	118,956,609,938
(F) 追加信託差損益金	2,276,017,288
(G) 解約差損益金	△ 13,427,230,406
(H) 計(D+E+F+G)	114,099,827,185
次期繰越損益金(H)	114,099,827,185

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。